

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	岡山南高等学校		所在地	岡山市北区奥田二丁目4番7号		
敷地面積	36,946.06 m ²		棟数	52 棟 (計画記載対象 15 棟)		
延床面積	18,110.45 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 6弱 津波 - 浸水 -						
建築規制	市街化区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 455,673 kwh	ガス 1,807 m ³	水道 7,255 m ³	燃料 (灯油) 555 0		
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 1,350.22m ² 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所					

1 施設内建物の概況

名 称	商品実習室棟(29棟)1-1	格技場棟(50-2棟)7-1	商業科特別教室棟(57棟)1-3
築年(西暦)	1961 年	1970 年	1971 年
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	270.84 m ²	425.41 m ²	124.30 m ²
延床面積	541.68 m ²	469.55 m ²	464.31 m ²
主要な用途 (室名等)	ワープロ室 進路学習室	武道場	第一簿記室 計算事務室 第3パソコン室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	-	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(63-2棟)24-1,2	管理棟(67棟)27-1	特別教室棟(70棟)27-2
築年(西暦)	1972年	1976年	1977年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	331.76 m ²	603.52 m ²	598.68 m ²
延床面積	1,327.04 m ²	2,263.07 m ²	2407.3 m ²
主要な用途 (室名等)	第1パソコン室 LL視聴覚室	校長室 事務室 保健室	教務室 化学室 図書室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	給排水設備 消火設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(73棟)29	特別教室棟(87棟)24	誠友会館棟(94棟)26
築年(西暦)	1978年	1980年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	292.00 m ²	157.76 m ²	256.43 m ²
延床面積	1,177.72 m ²	515.59 m ²	729.66 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	第1・2プログラミング室 総合実践室	食堂 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(95棟)33-1	普通教室棟(96棟)33-2	昇降口棟(97棟)34
築年(西暦)	1989年	1990年	1990年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 1階
建築面積	210.03 m ²	160.5 m ²	297.33 m ²
延床面積	852.07 m ²	648.10 m ²	297.33 m ²
主要な用途 (室名等)	家福実習室 普通教室	普通教室 更衣室	昇降口
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備 消火設備	給排水設備 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	屋根	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(99棟)35	体育館棟(105棟)37	記念会館棟(108棟)39
築年(西暦)	1992年	2001年	2002年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	178.84 m ²	1,490.52 m ²	155.95 m ²
延床面積	715.37 m ²	1,701.77 m ²	310.98 m ²
主要な用途 (室名等)	美術室 音楽室 社会科室	体育館	トレーニング場 多目的室
主要な設備 (屋外を含む)	—	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
商品実習室棟(29棟) 1-1	予防保全を図る。
格技場棟(50-2棟) 7-1	長寿命化改修を行う。
商業科特別教室棟(57棟) 1-3	予防保全を図る。
特別教室棟(63-2棟) 24-1,2	長寿命化改修を行う。
管理棟(67棟) 27-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
特別教室棟(70棟) 27-2	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(73棟) 29	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(87棟) 24	長寿命化改修を行う。
誠友会館棟(94棟) 26	予防保全を図る。
普通教室棟(95棟) 33-1	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
普通教室棟(96棟) 33-2	長寿命化改修を行う。
昇降口棟(97棟) 34	予防保全を図る。
特別教室棟(99棟) 35	予防保全を図る。
体育館棟(105棟) 37	予防保全を図る。
記念会館棟(108棟) 39	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備等更新 劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 長寿命化改修 中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。 (63-2棟、87棟)2018年度設計、2019年度から施工 (70棟)2020年度以降設計・施工 (95棟、96棟)2022年度以降設計・施工 (73棟)2024年度以降設計・施工 (50-2棟)2026年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
商品実習室棟 (29棟)1-1	予防保全	予防保全を図る。									
格技場棟(50-2 棟)7-1	長寿命化改修										設計
商業科特別教室棟 (57棟)1-3	予防保全	予防保全を図る。									
特別教室棟 (63-2棟)24-1,2	長寿命化改修		設計		施工 3						
管理棟(67棟) 27-1	設備等の 定期更新			トイレ洋式化							
特別教室棟(70 棟)27-2	長寿命化改修				設計・施工 4						
普通教室棟(73 棟)29	長寿命化改修								設計・施工 2		
特別教室棟(87 棟)24	長寿命化改修		設計 63-2棟 に含		施工 63-2棟に含						
誠友会館棟(94 棟)26	予防保全	予防保全を図る。									
普通教室棟(95 棟)33-1	設備等の 定期更新				トイレ 改修						
	長寿命化改修						設計・施工 3				
普通教室棟(96 棟)33-2	長寿命化改修						設計・施工 95棟に含				
昇降口棟(97 棟)34	予防保全	予防保全を図る。									
特別教室棟(99 棟)35	予防保全	予防保全を図る。									
体育館棟(105 棟)37	予防保全	予防保全を図る。									
記念会館棟 (108棟)39	予防保全	予防保全を図る。									

4. 概算費用

・総額 12億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	管理棟(67棟)において、設備等の定期更新を追加
R2.3	普通教室棟(95棟)において、設備等の定期更新を追加